

【技術分類】 3 - 3 - 1 矯正治療 / 口腔外器材 / 頭部装着型矯正用器材

【技術名称】 3 - 3 - 1 - 1 ヘッドギア

【技術内容】

矯正治療において、上顎骨あるいは上顎歯を後方への移動させる際に使用する顎外固定装置である。フェイスボーとヘッドキャップより構成される。ヘッドギアでは、頭部あるいは頸部を固定源としてヘッドキャップを装着し、フェイスボーのフックをヘッドキャップのストラップの孔へ挿入して牽引し、上顎骨あるいは上顎歯を後方へ移動させる強制力を与えるものである。

【図】

図1 ヘッドギア



図2 フェイスボー



【出典】

図1： 刊行物名：「臨床歯科理工学」、発行年月日：2006年5月25日、編者名：宮崎 隆、中嶋 裕、河合達志、小田 豊、発行所：医歯薬出版株式会社、出典箇所：320 ページ、図番号：図 10-26、図面名称：「ヘッドギア」

図2： 刊行物名：「オームコ 矯正歯科器材 総合カタログ 2003」、発行年月日：2003年、発行者：サイブロン・デンタル株式会社 オームコ ジャパン、出典箇所：159 ページ、図番号：なし(左上図)；図名称：「SR フェイスボー」

【参考資料】

刊行物名：「臨床歯科理工学」、発行年月日：2006年5月25日、編者名：宮崎 隆、中嶋 裕、河合達志、小田 豊、発行所：医歯薬出版株式会社、参考箇所：320 ページ

【技術分類】 3 - 3 - 1 矯正治療 / 口腔外器材 / 頭部装着型矯正用器材

【技術名称】 3 - 3 - 1 - 2 チンキャップ

【技術内容】

矯正治療において、下顎骨あるいは下顎歯を後方への移動させる際に使用する顎外固定装置である。オトガイ帽装置ともいう。

チンキャップとリトラクター、ゴムリングより構成される。チンキャップでは、頭部全体を固定源としてリトラクターを装着し、チンキャップとリトラクターの間をゴムリングで牽引し、下顎骨あるいは下顎歯を後方へ移動させる強制力を与えるものである。

【図】

図1 チンキャップ



【出典】

図1： 表題：「チンキャップ」、関連箇所：「ナカノ歯科室・矯正 Home > 矯正歯科・成人矯正歯科 > 歯科矯正補助装置 FA・3D・ヘッドギア > チンキャップ > 顎外固定装置 チンキャップ」、著者：ナカノ歯科室・矯正、掲載場所：ナカノ歯科室・矯正ホームページ、検索日：2007年1月23日、アドレス：<http://kyousei.h-nakano.ne.jp/fa/hg.html>

【参考資料】

刊行物名：「臨床歯科理工学」、発行年月日：2006年5月25日、編者名：宮崎 隆、中島 裕、河合達志、小田 豊、発行所：医歯薬出版株式会社、参考箇所：320-321 ページ

【技術分類】 3 - 3 - 1 矯正治療 / 口腔外器材 / 頭部装着型矯正用器材

【技術名称】 3 - 3 - 1 - 3 上顎前方牽引装置

【技術内容】

矯正治療において、上顎が発達していない受け口の治療の際に使用する顎外固定装置である。フェイスマスクあるいはプロトラクターなどともいう。

チンキャップタイプ、フェイスマスクタイプ、ボウタイプなどがある。前頭部とオトガイ部を固定源として、口腔内の固定装置と上顎前方牽引装置のフックとをゴムリング繋ぐことにより、上顎を前方に牽引するものである。通常一度の装着時間 8 時間以上必要である。これにより上顎の前方への成長が促進されたり、上顎の歯列が前方へ移動することができる。

【図】

図 1 上顎前方牽引装置（フェイスマスクタイプ）



【出典】

図 1： 表題：「取り外しのできる装置：4.フェイスマスク」、関連箇所：「長崎大学医学部・歯学部 附属病院歯並び・噛み合わせ治療室トップページ > 矯正装置：取り外しのできる装置：4.フェイス マスク」、著者：長崎大学医学部・歯学部附属病院内 歯並び・噛み合わせ治療室、掲載場所：長崎 大学医学部・歯学部附属病院内 歯並び・噛み合わせ治療室ホームページ、検索日：2006 年 11 月 20 日、

アドレス：<http://www.dh.nagasaki-u.ac.jp/orthod/porion/equipment/index.html>

【参考資料】

刊行物名：「臨床歯科理工学」、発行年月日：2006 年 5 月 25 日、編者名：宮崎 隆、中嶋 裕、河 合達志、小田 豊、発行所：医歯薬出版株式会社、参考箇所：320 ページ